



令和2年12月2日(水) 県議会 12月定例会 本会議 一般質問

1 国際交流について

① 県立大学の留学生の受け入れについて、今後どのように取り組んでいくのかが在籍状況と併せて問う。

答 弁(政策監)

5カ国から38名の留学生が在籍中。入学を予定している留学生が早期に学ぶことができるよう入国後の自主待機期間中の宿泊施設の紹介や健康管理の支援を行っている。



② コロナ禍において、県立大学では海外の大学・研究機関とどのように交流関係を維持しているのか、知的財産の流出防止のための取り組みを併せて問う。

答 弁(政策監)

オンライン会議での状況報告や研究サンプルの相互送付を行っている。知的財産が生じる可能性がある場合は契約等を取り交わすことで対応している。

③ 県立高校及び県立大学では入学試験にどのようなコロナ対策を実施しているのか、スポーツ、課外活動などが制限されているなか、推薦試験等の評価基準をどのように考えているのか併せて問う。

答 弁(県立大学:政策監)

文科省ガイドラインに基づき入試を行う。また、課外活動等は結果に代えてプロセスも評価できるように配慮する。

答 弁(県立高校:教育長)

徹底した感染症予防対策のもと公平な受験機会の確保に向けて早く取扱いを示したい。合否については推薦書や調査書や面接結果等をもって総合的に判定する。

④ 公立中高一貫校又は公立小中高一貫校の創設を検討してはどうか、問う。

答 弁(教育長)

平成30年の総合教育会議で慎重に検討するとされており、生徒数の将来推計や地理的条件等を踏まえ研究を重ねたい。

⑤ 貿易の拡大及び伏木富山港の活用のため、県としてどのように取り組むのか、問う。

答 弁(商工労働部長)

インセンティブ制度、利用推進セミナー、デジタル・オンライン商談など活用し、海外への販路拡大を積極的に支援したい。



⑥ 勝興寺での棋聖戦を契機とし学校教育において、囲碁に触れる機会を増やせばどうか、問う。

答 弁(教育長)

棋聖戦の機運醸成に努めると共に国際交流事業において囲碁を用いた交流を企画するなど機会の創出を検討したい。



2 民間と行政について

① 行政手続きの押印廃止「脱ハンコ」について、今後どのように進めていくのか、問う。

答 弁(経営管理部長)

印鑑証明の添付を要するような手続き以外は原則、今年度中に押印を廃止する方向で検討を進めている。

② 県政に取り入れるとされる「民間企業の当たり前」について、市町村にも取り入れることを求めていくのか、問う。

答 弁(知事)

コロナ禍では民間の考えと経験は大いに役に立つ。市町村から学ぶことも多く、良いところを尊重しながら県としてサポートしていきたい。

③ 民間資金、民間人材の積極的な活用が県民の負担増につながるものでないか、を問う。

答 弁(知事)

交付税措置の有利な県債発行に努めるほか「全国型市場公募債」も検討する。また、民間の良さを県政に取り入れることが民間人材活用の目的である。

④ 文部科学省が進めているコミュニティ・スクールの推進に向けた取り組みについて、所見を問う。

答 弁(教育長)

導入が進んでいる他県での事例を示すことで各学校において適切な判断がなされるよう環境整備に努める。

3 北陸新幹線について

① 金沢-敦賀間の開業が1年半延期となることによって、北陸三県での取り組みにどのような影響があるのか、問う。

答 弁(知事)

北陸三県が連携した観光誘客のキャンペーンを準備していたが、開業延期となった場合は協議する必要がある。



② 富山県武道館、高岡テクノドーム別館など大型施設は同時ではなく優先順位をつけての整備も必要でないか。

答 弁(知事)

優先順位、スケジュール、運営方法について精査が必要だと考えている。県全体の発展に大きな役割を果たすものであり整備する方向で進めたい。

③ JR城端線・氷見線LRT化の今後の検討スケジュール、問う。

答 弁(観光・交通振興局長)

11月に実施した移動事態調査の結果を踏まえ2回目の検討会を開催する。引き続き沿線市やJRと実現方法や可能性の検討を進めたい。



4 有害鳥獣対策について

① 有害鳥獣の農業被害以外の人的被害、車両被害等の状況について問う。

答 弁(生活環境文化部長)

イノシシの人的被害は平成28年の統計開始以来、2件4名。全国的に昨年度は59件、75名。令和元年度の車両事故はイノシシ174件、ニホンジカ4件。

② イノシシの個体数管理を地域細分化した管理ができないものか、問う。

答 弁(生活環境文化部長)

広域移動する動物であり、県下全域での広域的な管理が適している。今後も市町村、猟友会等と連携し被害防止に努めたい。

